



# 川西っ子

帯広市立川西小学校  
Obihiro Kawanishi  
Elementary School

平成29年11月30日

No. 16

「子どもの成長に寄り添い 信頼ときずなを深める学校

～チームカワニシ 笑顔一番 わくわく・いきいき 感動体験～

## 学校評価中間報告を、お知らせします

・・教職員・保護者・児童3者の評価と教職員の記述より・・

例年、教職員による学校評価の客観性を高めるために、保護者・児童にも、同じような項目で評価をしてもらい、その相関も見えるように表にまとめています。ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。(回収数 78/105 回収率 74.2%)

4月の全校参観日の学校経営説明会の場で、今年度の学校経営の重点など限られた時間で説明させていただきましたが、細かい項目については、その方針に対応したものとなっております。

大きな項目(I 確かな学力の定着 II 豊かな心の育成 III 健やかな体の育成 IV 信頼され開かれた学校づくり)の4つについての評価です。

### 表の見方について

領域	No	評価項目 上：教職員 中：保護者 下：児童	評価	成果・達成状況・課題・改善点
I 確かな学力の定着	①	児童にわかりやすく工夫した授業を行うよう努めている。 <b>教職員の評価項目</b>	3.3 (3.4)	上段は教職員の4を満点とする評価 下段( )内は昨年度の評価  ○校内研修を中心として、わかりやすさを追究した授業が工夫されつつある。 学校としてのこれまでの対応や今後に向けてのなどの考え ★紙面の関係で端的にまとめています!  上段は保護者の4を満点とする評価 下段( )内は昨年度の評価
	①	お子さんは授業が楽しく、わかりやすいと言っている。 <b>保護者のアンケート設問</b>	3.3 (3.1)	
	①	毎日の学習は、わかりやすく楽しい <b>児童のアンケート設問</b>	3.5 (3.6)	

4点満点での評価と、教職員や学校としてのこれまでの取り組みや、保護者や児童の感想などによって、評価の数字については、今年度のものと同年度のものの両方を載せていますが、単純に数字のみで一喜一憂はできません。これからの教育活動に生かすことに重点を置きます。

領域	今年度の重点目標	No	評価項目 (㊦教職員・㊧保護者・㊨児童)	評定	総合	達成状況・改善策・学校関係者評価	
I 確かな学力の定着 学—よく考え自ら学ぶ子	<p>①基礎基本の確実な定着と自ら学び考える力を育てる指導の充実 →学力向上改善プログラムの作成・基礎基本の定着に向けた全校的な取組・家庭学習の習慣化の取組・問題解決的学習や体験的な学習の重視・T Tや少人数指導などの指導方法や学習形態の工夫改善・ICTを活用した授業力向上と学習指導の充実</p> <p>②新学習指導要領の趣旨に基づき、地域の特性を生かした教育課程の編成・実施・評価・改善 →領域毎の全体計画の見直し・年間指導計画の改善・地域の環境や人材、施設の活用・学校支援地域本部事業との連携</p> <p>③教師の指導力向上を図る校内研修の充実 →研究課題に基づく日常実践・公開授業研究会（10月）実施・外部講師活用による開かれた研修の推進・目標管理手法による教職員の力量形成</p>	①	児童にわかりやすく工夫した授業を行うよう努めている。	3.4 (3.1)		○個に応じて指導している。 ●十分な授業研究及び準備ができていない。	
			保護 ①	お子さんは授業が楽しく、わかりやすいと言っている。			3.3 (3.1)
			児童 ①	毎日の学習は、わかりやすく楽しい。			3.5 (3.6)
		②	基礎・基本の確実な定着への取組と自ら学び考える力を育てる指導に努めている。	3.3 (3.5)		○朝学習や宿題を通して定着を図っている。 ●児童に話す、聞くに伴う姿勢（どうすべきか）の定着を図ることで、コミュニケーション力をより高めることができる。	
			保護 ②	読む・書く・漢字・計算などが身に付く取組が行われている。			3.4 (3.3)
			保護 ③	お子さんは学習意欲があり、家庭学習にもよく取り組んでいる。			3.1 (2.9)
			児童 ②	音読・漢字・計算などを練習してがんばっている。			3.4 (3.5)
			児童 ③	進んで学習に取り組んだり、家庭学習を続けている。			3.3 (3.5)
		③	児童が体験したり、自分で考えたりする時間を十分取り入れている。	3.2 (3.4)		●少しでも時間を確保しているつもりだが、まだまだ不十分である。 ●教師主導傾向が強いように思う。（児童の受け身姿勢も根強い）	
			保護 ④	お子さんが体験したり、自分で考えたりする授業が行われている。			3.5 (3.3)
			児童 ④	学習では体験したり、自分で考えたりする時間がたくさんある。			3.5 (3.5)
		④	教師の指導力向上を図る自己及び校内研修の充実に努めている。	3.2 (3.5)		○研修会議での参加が意欲的である。 ●日々の業務に追われ、余裕がないのも事実である。	
		⑤	一人一人の児童をよく理解し、個に応じた指導をしている。	3.2 (3.8)		●学習スピードの早い児童への対応を考える。（例えば、問題集の活用、プリントの準備、読書など）	
			保護 ⑤	先生たちは、お子さんのことをよく理解し、個に応じた指導をしている。			3.2 (3.1)
			児童 ⑤	学習でわからないことについて先生たちに質問しやすいし、わかるまで丁寧に教えてくれる。			3.4 (3.6)

領域	今年度の重点目標	No	評価項目 (㊤教職員・㊤保護者・㊤児童)	評定	総合	達成状況・改善策・学校関係者評価			
II 豊かな心の育成 愛―思いやりがあり心豊かな子ども	①豊かな情操を育む教育機会の充実 →各種図書館の活用とボランティアとの連携で朝読書などの読書活動を充実・全校合唱や写生展、版画展、花壇活動等の情操教育の充実・心のふれあいや子どもが感動する体験の場の創造 ②思いやりの心の育成 →副読本や心のノートの活用で日常の心に響く道徳の時間の実践を要とする道徳教育の充実・道徳の授業に関する研修の充実・基本的な生活習慣や規範意識を培う「川西っ子ひびきあい運動」の推進 ③内にも外にも開かれた学年学級経営 →情報共有による不登校・いじめ・問題行動を未然に防ぐ指導 ④教育相談・特別支援教育・生徒指導の充実 →自己決定の場、自己存在感、共感的な人間関係を生かした指導と組織的な対応・子どもの実態把握による指導支援	⑥	農園活動など地域の素材・人材・施設を生かした特色ある教育活動を行っている。	3.7 (3.7)	総合	○農園の先生の顔写真の掲示などによって児童への印象づけ ●ボリュームがありすぎて、活動自体は丁寧にできていない。 ●暑さもあり、子どもに行わせることが難しかった。			
			保護 ⑥	農園活動など地域の素材・人材・施設などを生かした特色ある教育活動を行っている。			3.9 (3.9)		
			児童 ⑥	わたしにとって農園活動や花壇づくりは、大切な活動だと思う。			3.8 (3.8)		
		⑦	朝読書などの読書活動や様々な表現活動による情操を育む教育機会を充実させている。	3.4 (3.4)			総合	○行っている。	
			保護 ⑦	朝読書や全校合唱、造形活動、花壇活動など様々な表現活動を通して豊かな情操を育んでいる。					3.6 (3.7)
			児童 ⑦	わたしにとって朝読書や全校合唱は、たのしく大切な活動だと思う。					3.6 (3.7)
			⑧	道徳の時間を中心に豊かな心と道徳的実践力の育成に努めている。					3.4 (3.5)
		保護 ⑧	道徳の時間などを通して、豊かな心が育つ指導がされている。	3.5 (3.4)					
		児童 ⑧	道徳の時間では資料やテレビなどを参考に、自分や友だちのことについて考えたり話し合ったりしている。	3.2 (3.3)					
		児童 ⑨	「川西っ子ひびきあい運動」を実行しようとしている。	3.2 (3.5)					

領域	今年度の重点目標	No	評価項目 (㊤教職員・㊤保護者・㊤児童)	評定	総合	達成状況・改善策・学校関係者評価			
III 健全な体の育成 健―健康でたくましい子ども	①たくましい体の育成 →子どもの実態把握と改善の手だて・体育の授業改善・遊びを生かした体づくりや運動の日常化・環境整備、体験活動や遊びを保護者や地域と連携・協力・交流により実施 ②望ましい食・生活習慣の定着 →子どもの実態把握に基づく健康教育の推進・望ましい生活習慣の日常的な指導と家庭への情報提供・食の知識や食習慣の理解を深めるための取組を地域の人材や関係諸機関・施設などと連携推進する ③自他の生命を守る判断力と実践的な態度の育成 →避難訓練や交通安全教室の実施・防災教育の意図的計画的な取組・日常的な目配りや点検による危険防止と安全管理の徹底・S B運営委員会や子どもを守るネットワークとの連携強化・安全ネットの加入	⑨	児童の実態を把握し、運動や健康、安全についての指導を適切に行うとともに、情報の啓発に努めています。	3.4 (3.7)	総合	○努めている。 ○タイムリーな保健だよりの発行がある。			
			保護 ⑨	運動や健康、安全に関する指導が適切に行われている。			3.6 (3.7)		
			児童 ⑩	健康や安全に気をつけたり、体を使って遊んだり、運動をしている。			3.6 (3.7)		
		⑩	児童の事故やけが、児童相互のトラブルや悩みなどに組織的で適切な対応をしている。	3.0 (3.5)			総合	○対応している。 ○「学び合い」をベースに共に支え合う学級風土づくりにも取り組んでいると思う。(構成グループエンカウンターを活用など) ●遠足の時、怪我をおこしてしまったのは残念だった。 ●高学年ほど、(時数があれば)二者面談を取り入れても良いと思う。	
			保護 ⑩	先生たちは事故やけが、児童相互のトラブルや悩み等に適切な対応をしている。					3.4 (3.6)
			児童 ⑪	先生たちは、わたしの悩みなどを聞いて、相談ののってくれる。					3.3 (3.6)

		⑪	望ましい生活習慣や食生活について、日常的に児童に指導を行っている。	3.5 (3.1)		○子どもの実態に応じてしっかりと時間を確保している。 ●児童のあいさつの声、表情に輝きが少なくなっている。4月の輝きの継続と一層の高まりを求めたい。
--	--	---	-----------------------------------	--------------	--	---

領域	今年度の重点目標	No	評価項目 (㊦教職員・㊧保護者・㊨児童)	評定	総合	達成状況・改善策・学校関係者評価		
IV 信頼され開かれた学校づくり 行い責任を重んじ進んで協力する子ども	①説明責任を果たす積極的な学校公開や情報発信 →学校説明会、公開研究会、定期授業参観、祖父母参観の実施・学校要覧、各種通信等の発行・HP更新 ②学校評価の更なる充実 →児童・保護者アンケートを生かした自己評価及び学校関係者評価の実施と公表・学校評価の内容改善 ③信頼される教職員 →スクールコンプライアンスの徹底による服務規律保持と迅速な危機対応・報告・連絡・相談の徹底 ④施設設備の活用と児童にはたらかける環境づくり →教材室や資料室の効果的活用と整備・子どもの興味、関心、意欲を引き出す新鮮でさわやかな教育環境・最大の教育環境は教師	⑫	学校は、通信やHPで教育目標、経営方針、教育活動や児童の様子などをわかりやすく伝えている。	3.4 (2.8)		○学級通信等で児童の変化や頑張りの紹介の継続 ○伝えている。		
		保護 ⑪	学校は、学校だより、学級通信などやホームページで教育目標や経営方針、教育活動の様子についてわかりやすく伝えている。	3.5 (3.8)				
		児童 ⑫	学校・学級だよりなどについて家族で話をすることがある。	3.1 (3.4)				
				⑬	保護者や地域に教育内容や活動の様子を公開したり要望などを受ける体制が確立している。	3.4 (3.7)		○保護者や役員の方の学校への理解が大きい。 (先生方の努力の成果と思う)
		保護 ⑫	学校は公開研・参観日や行事などで教育内容や活動の様子を適切に公開したり、要望や意見を受け入れる体制ができています。	3.6 (3.7)				
				⑭	学校は、教育環境や校内の環境整備に努め安全の確保に配慮している。	3.3 (3.5)		○PTAの協力姿勢が大きい。 ●学校の取組はとてもよいが、児童数増により、施設整備は限界にきているのではない。 ●草取りの計画、立案分担を、もう少し明確にできると良い。
		保護 ⑬	学校は、教室環境や校内の環境整備、安全の確保に配慮している。	3.5 (3.6)				
		児童 ⑬	学校はきれいで安全なところだと思える。	3.6 (3.4)				
				⑮	学校は、子どもたちが喜んで登校できる場となるよう努めている。	3.7 (3.7)		
		保護 ⑭	お子さんは、楽しく学校へ通っている。	3.7 (3.7)				
		児童 ⑭	学校に行くのが楽しい。	3.6 (3.6)				
				⑯	教職員は保護者からの期待と信頼に応え、服務規律保持に努めている。	3.7 (3.7)		○校長を中心にした一体感のある取組や姿勢がある。
		保護 ⑮	学校や先生たちは保護者からの相談や要望には適切に対応するなど期待と信頼に応えている。	3.4 (3.4)				
				⑰	学校は、学校教育目標達成に向けてRVPDCAのサイクルで組織的に取り組んでいる。	3.4 (3.6)		○特に意識はしていないが実践されている。伝統となっている。